

齋宮豊鋤は石の神籬（ひもろぎ）の

ホケノ山古墳で西暦 247 年に擁立された

柴山 鳥人

応神天皇 8 年を西暦 397 年とし春秋半年暦・没年改年・空位なしとして遡ると、垂仁天皇の治世は西暦 247 年秋春から西暦 296 年秋春となる。

邪馬台国が大倭国で国王は女王、日の巫女、齋宮とすると、垂仁天皇の治世ではなく齋宮豊鋤入姫の治世である。

日本書紀の天皇治世年をそのまま解釈すると神武天皇即位の年は西暦紀元前 660 年となるが治世が 100 年以上の天皇も存在し信用はできない。

天皇の在位年と西暦対照表をウィキペディアから一部抜粋引用する。

1 天皇の在位年と西暦対照表

西暦 270 年 応神天皇元年

西暦 201 年 神功皇后元年 ～西暦 269 年 神功皇后 69 年

西暦 192 年 仲哀天皇元年 ～西暦 200 年 仲哀天皇 9 年

西暦 191 年 空位 1 年

西暦 131 年 成務天皇元年 ～西暦 190 年 成務天皇 60 年

西暦 71 年 景行天皇元年 ～西暦 130 年 景行天皇 60 年

紀元前 29 年 垂仁天皇元年 ～西暦 70 年 垂仁天皇 99 年

紀元前 97 年 崇神天皇元年 ～紀元前 30 年 崇神天皇 68 年

日本書紀の応神天皇8年（西暦277年、丁酉の年）は「百濟本紀」の百濟阿華王6年（西暦397年、丁酉の年）の記述と共通するので、西暦277年は誤りで西暦397年が正しいとして120年修正する。

2 仮説：応神天皇8年（西暦277年）は百濟阿華王6年（西暦397年）

西暦390年 応神天皇 元年

西暦321年 神功皇后元年 ～西暦389年 神功皇后69年

西暦312年 仲哀天皇元年 ～西暦320年 仲哀天皇 9年

西暦311年 空位1年

西暦251年 成務天皇元年 ～西暦310年 成務天皇60年

西暦191年 景行天皇元年 ～西暦250年 景行天皇60年

西暦 92年 垂仁天皇元年 ～西暦190年 垂仁天皇99年

西暦 34年 崇神天皇元年 ～西暦 91年 崇神天皇68年

大倭国は邪馬台国だとして、魏志倭人伝の「春耕秋収を計って年紀と為す」との記述が春秋半年暦のことだと仮定して修正する。

3 仮説：応神天皇8年は西暦397年春分から秋分とした春秋半年暦

西暦393年秋春 応神天皇元年

西暦359年春秋 神功皇后元年～西暦393年春秋 神功皇后69半年

西暦354年秋春 仲哀天皇元年～西暦358年秋春 仲哀天皇 9半年

西暦354年春秋 空位1半年

西暦324年春秋 成務天皇元年～西暦353年秋春 成務天皇60半年

西暦294年春秋 景行天皇元年～西暦323年秋春 景行天皇60半年

西暦244年秋春 垂仁天皇元年～西暦293年秋春 垂仁天皇99半年

西暦210年秋春 崇神天皇元年～西暦244年春秋 崇神天皇68半年

大倭国は邪馬台国だとして、国王は女王で卑弥呼は日の巫女、齋宮であり、大王ではなく齋宮が国を統治していたのであれば、3世紀中頃の治世年は女王の治世年と仮定する。

4 仮説：3世紀は大王ではなく齋宮の卑弥呼、台与が国王

西暦393年秋春	応神天皇元年		
西暦359年春秋	神功皇后元年～西暦393年春秋	神功皇后	69半年
西暦354年秋春	仲哀天皇元年～西暦358年秋春	仲哀天皇	9半年
西暦354年春秋	空位		
西暦324年春秋	成務天皇元年～西暦353年秋春	成務天皇	60半年
西暦294年春秋	景行天皇元年～西暦323年秋春	景行天皇	60半年
西暦244年秋春	台与 元年～西暦293年秋春	台与	99半年
西暦210年秋春	卑弥呼 元年～西暦244年春秋	卑弥呼	68半年

邪馬台国の新女王の台与の即位は西暦250年頃のことだと考えられるで、即位がこの年に近づくように没年改年・空位なしとして修正する。

5 仮説：即位は没年改年で空位なし

西暦393年秋春	応神天皇元年		
西暦359年秋春	神功皇后元年～西暦393年秋春	神功皇后	69半年
西暦355年秋春	仲哀天皇元年～西暦359年秋春	仲哀天皇	9半年
	空位なし		
西暦326年春秋	成務天皇元年～西暦355年秋春	成務天皇	60半年
西暦296年秋春	景行天皇元年～西暦326年春秋	景行天皇	60半年
西暦247年秋春	台与 元年～西暦296年秋春	台与	99半年
西暦214年春秋	卑弥呼 元年～西暦247年秋春	卑弥呼	68半年

さて、邪馬台国の新女王の台与は、西暦247年秋春に即位し西暦296年秋春に崩じたと仮説を立てたときに想起するのがホケノ山古墳である。

ホケノ山古墳は発掘調査されていて、葺石（ふきいし）のある初期の前方後円墳で3世紀中頃に造られ3世紀後期に墓が増設されていることが分っている。また、大神神社はホケノ山古墳を豊鍬入姫命の墓としている。そして、日本書紀では「崇神天皇6年 天照大神を豊鍬入姫命に託し、大和の笠縫邑に祀った。よって堅固な石の神籬（ひもろぎ）を造った。」とある。

そうすると、ホケノ山古墳は豊鍬入姫が斎宮、女王として即位するために造られた堅固な石の神籬であり、邪馬台国の台与と大倭国の豊鍬入姫は同一人物で、崩御した後ここに葬られたのではないか。

そして、西暦247年秋春が斎宮豊鍬入姫元年で、崇神天皇としている崇神大王7年であれば崇神大王元年は西暦245年春秋となる。日本書紀に「崇神天皇3年 都を磯城に移した。」とあるのは、崇神大王3年の西暦246年春秋に旧都筑前国那珂郡から新都大和国磯城郡に遷都したのではないだろうか。日本書紀に「崇神天皇11年 異俗の人が大勢やってきた。」とあるのは、崇神大王11年の西暦250年春秋に新都大和国磯城郡に魏の使者が来たのではないだろうか。

また、邪馬台国の卑弥呼が、西暦214年春秋に即位したとすると、卑弥呼の前任の斎宮は西暦214年春秋に崩じたことになる。そうしたときに想起するのは平原1号墓である。卑弥呼の前任の斎宮の墓であると推測できる。

北部九州の広形銅矛をまつる地域からの東征は卑弥呼の治世である西暦214年から西暦247年の間にあったことになる。

大倭国では齋宮の元号と大王の元号が平行して使用されていたことになりませんがそんな特殊なこと、面倒なことを行う国なんて存在するのでしょうか。

ところが現在似たようなことを行なっている国があります。他でもない日本国です。日本は西暦と天皇元号を起用に平行して使っています。

【参考とした書籍等】

口語訳古事記神代篇	(訳・注釈：三浦佑之	文春文庫)
口語訳古事記人世篇	(訳・注釈：三浦佑之	文春文庫)
日本書紀(上)全現代語訳	(訳：宇治谷孟	講談社学術文庫)
日本書紀(下)全現代語訳	(訳：宇治谷孟	講談社学術文庫)
先代旧事本紀[現代語訳]	(監修：安本美典、訳：志村裕子	批評社)
日本の歴史：1	(編者(代表)：家永三郎	ほるぷ出版)
弥生時代の歴史	(著者：藤尾慎一郎	講談社現代新書)
ウィキペディア		

【著者の出版物】

アマテラス **ひ**と **い**ツキヨミ **こ**とスサノオウ

国生み神話の復元を起点に古事記と日本書紀から復元した大倭国の始まり

著者 柴山 鳥人

アマゾン電子書籍 kindle 版 397 円 (kindleunlimited 対象)

オンデマンド (ペーパーバック) 1,234 円